

《履修証明プログラム 開講時間割表（2018年度前期4月～8月）》

■ = 実習の各コース共通科目 ■ = 講義の各コース共通科目 ■ = ガラス ■ = ジュエリー

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50
		1	2	昼休み	3	4	5					
月	ガラス						①クラフト基礎実習 (初心者)[45時間] <9601>			②ステンドグラス演習 (初心者～中級者) [22.5時間] <9601>		
	ジュエリー									③金属造形演習 (初心者～中級者) [22.5時間] <9601>		
火	ガラス						④クラフト特別演習 (上級者)[45時間] <9601>					
	ジュエリー											
	講義								⑤工芸史 [22.5時間] <1105>			
水	ガラス		⑥クラフト実習B (初心者～中級者)[45時間] <9601>									
	ジュエリー											
木	ガラス					⑦ガラス・陶磁器演習Ⅱ (中級者～上級者)[67.5時間] <9601>						
	ジュエリー					⑧ジュエリー・メタルワーク演習Ⅱ (中級者～上級者)[67.5時間] <9601>						
	講義		⑨アートプロジェクト論 (クラフト・美術学外演習) [22.5時間] <1105>									
金	ガラス											
	ジュエリー											
	講義	⑩アート・クラフト概論 [22.5時間]<1105>										

※[]内の時間は、15週の総時間数です。

【授業内容】

- ①各コースそれぞれ、素材別に4週間ずつ初期の制作加工法を体験します。
- ②ステンドグラスの歴史、材料、技法、デザインテクニック、プレゼンテーションテクニック、工房の造り方と運営などを総合的に学びます。
- ③金属を素材とするクラフト作品制作に関しての様々な表現や工法について学習し、演習を通して色彩・造形力を身につけます。
- ④各自のテーマを基に自由制作します。
- ⑤工芸品がさまざまな時代にどのような変遷を遂げて現代に至ったのかを学習し、作品制作に必要な知識を身につけます。
- ⑥クラフトの基礎技術の修得と技法の応用をした作品制作をします。
- ⑦ガラスの基礎的な技術と知識を繰り返しの訓練によって身につけ、与えられたテーマに沿って複数の課題作品を制作します。
- ⑧金属工芸の基礎的な技術と知識を繰り返しの訓練によって身につけ、与えられたテーマに沿って複数の課題作品を制作します。
- ⑨クラフト領域の歴史や理論を背景に造形、表現、伝統、地域、交流などの基本的な要素についての理解を深めます。
- ⑩地域社会と芸術をつなぐアートプロジェクトについて、その成立過程や企画運営の技術、社会的意義について学びます。

※さらに詳しい授業内容については、KDUポータル(<https://portal.kobe-du.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>)
ゲストユーザーとして「2017シラバス」をご参照ください。

【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初心者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。

【履修モデル（参考）】

《初心者の方…経験のない方》

◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座 ◎実習から「クラフト実習B」「クラフト基礎実習」の2講座

《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座 ◎実習から「各素材の演習」「クラフト特別演習」を中心に2講座

《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座 ◎実習から「各素材の演習」「クラフト特別演習」を中心に2講座
